



KURUME

いつでもあなたをあたたく迎えてくれるまち、くるめ。



ふたば・くるめ。

ただいま、くるめ。

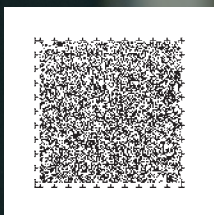
私が生まれ育ったまち・久留米。
久しぶりに帰ってきたふるさとは
なつかしさと温もりに満ちていた。

ラーメン、日本酒、フルーツ…、飽きることのない数多くのグルメ。
ものづくりの伝統を受け継ぐ職人さんの心と技。
優しく癒してくれる、水と緑にあふれた穏やかな景色。
そんな見慣れた風景のなかで交じり合う、歴史と新しさ。

ただいま、くるめ。
ここは、訪れる人をいつでも温かく迎えてくれるまち。

久留米ふるさと名誉大使

田中 麗奈

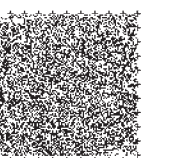
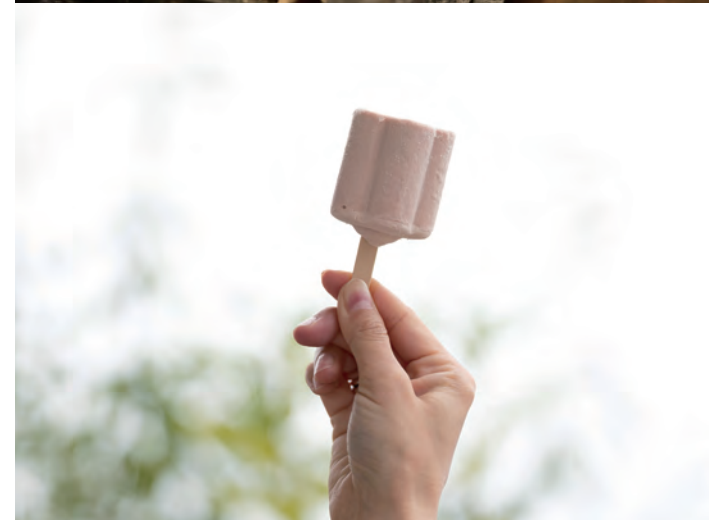




ここにしかない味。



全国でも有名なご当地グルメや地酒など、
食通をうならせる絶品の味がめじろ押しです。



FOOD

豊かな水と肥沃な土地に恵まれ、古くから多彩な食文化を育んできました。

庶民の味として愛され続ける久留米ラーメン、やきとりなどのグルメ、美食家もうなる日本酒、四季折々の農産物など、バラエティーに富んでいます。



■ 久留米ラーメン

全国的な人気を誇るとんこつラーメン発祥の地は久留米。減った分を継ぎ足しながら煮込み続ける「呼び戻し」のスープは、濃厚でコクのある味わいです。中太ストレート麺との相性はバツグン。店ごとのこだわりを感じながら、自分好みの一杯を探しに食べ歩いてはいかがでしょうか。

■ 日本酒

古くから筑後川沿いを中心に数多くの酒蔵が立ち並び、特に城島・三潅地域は「東の灘、西の城島」と称えられてきました。毎年2月から3月にかけての新酒の時期には酒蔵びらきが開催され、しばらくたてや限定のお酒を楽しむことができます。

■ 野菜

久留米は福岡県内最大の農業生産都市。肥沃な土壌に恵まれた筑後川流域や自然豊かな耳納連山の麓では、種類豊富な野菜が収穫されます。特に非結球レタス、小松菜の生産量は全国トップクラス。市内の直売所や道の駅では、地元農家が育てた新鮮野菜を購入することができます。

■ 久留米餃子

屋台文化が息づく久留米には、かつて屋台で提供されていた鉄鍋焼きが源流の餃子専門店がたくさんあります。店それぞれに個性があり、餡や生地、包み方、焼き方まで、そのバリエーションは様々。お酒のつまみにも最適です。

くるめふるさと大使からのメッセージ

クリエイター
パントビスコ さん

魅力のひとつは日本酒です。市内に15軒ほどの酒蔵があり、試飲ができる場所も。毎年2月には城島酒蔵びらきが開催されています。ぜひ久留米に来て、日本酒を堪能してほしいですね。

つつきは動画から！



くるめふるさと大使からのメッセージ

プロ野球選手（福岡ソフトバンクホークス）
牧原 大成 さん

久留米といえばやっぱり食べ物。地元に戻ったときは、やきとり、ラーメンを絶対食べます。行きつけのお店で大将とゆっくり色んな話をしながらお酒を飲んで、美味しいやきとりを食べて過ごすのが大好きです。

つつきは動画から！



© SoftBank HAWKS



■ フルーツ

田主丸地域は、巨峰開植の地です。甘さや芳醇で深みとコクのある味わい、果汁の多さなど、どれをとっても「ぶどうの王様」の名にふさわしい品質を誇ります。久留米市内ではぶどうの他にもいちごや梨、柿、桃など、季節ごとに様々なフルーツが収穫されます。

■ 久留米やきとり

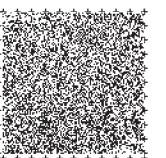
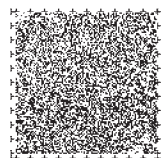
圧倒的にバラエティーが豊か。久留米では、鶏、豚、牛、馬、野菜、魚介、巻物など、串に刺せば何でも、やきとりです。頼まなくても出てくる、皿に盛られたキャベツ。「ダルム（腸）」「ヘルツ（心臓）」など、ドイツ語で呼ぶのは医者の子供久留米ならではの。

■ 筑後うどん

もっちりやわらかな麺と、昆布やカツオ、いりこなどを使った優しい味わいのスープ。出汁の旨味をよく吸った麺をすすると、美味しさが口いっぱいに広がります。トッピングの定番はごぼう天と肉。うどんと一緒に食べるのは、鶏肉やごぼうをふんだんに使った「かしわおにぎり」で決まり。

■ スイーツ

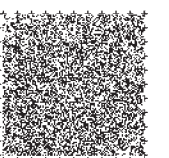
久留米を代表するお菓子といえば、黒砂糖本来の美味しさが楽しめる「黒棒」。他にも、歴史を感じるたくさんの銘菓や、全国にファンを持つアイスクリームなど、数々の逸品が市民に愛されています。もちろん久留米のとれたてフルーツをふんだんに使ったスイーツも存分に味わえます。



いい仕事してます。



伝統の技を守り、さらなる高みへ。
作品の一つひとつに作り手の魂が宿っています。



TRADITIONAL

匠の技が作り出す伝統工芸や近代以降に花開いたゴム産業発展の歴史。
ものづくりの精神が、この地に脈々と受け継がれています。

くるめふるさと大使からのメッセージ

お笑い芸人
こがけんさん

久留米といえばブリヂストン、ムーンスター、アサヒシューズなどの有名企業を生み出したまち。僕はブリヂストンの自転車を使っています。皆さんが学生時代に履いていた上履きなどもムーンスターやアサヒシューズが製造しています。

つつきは動画から!

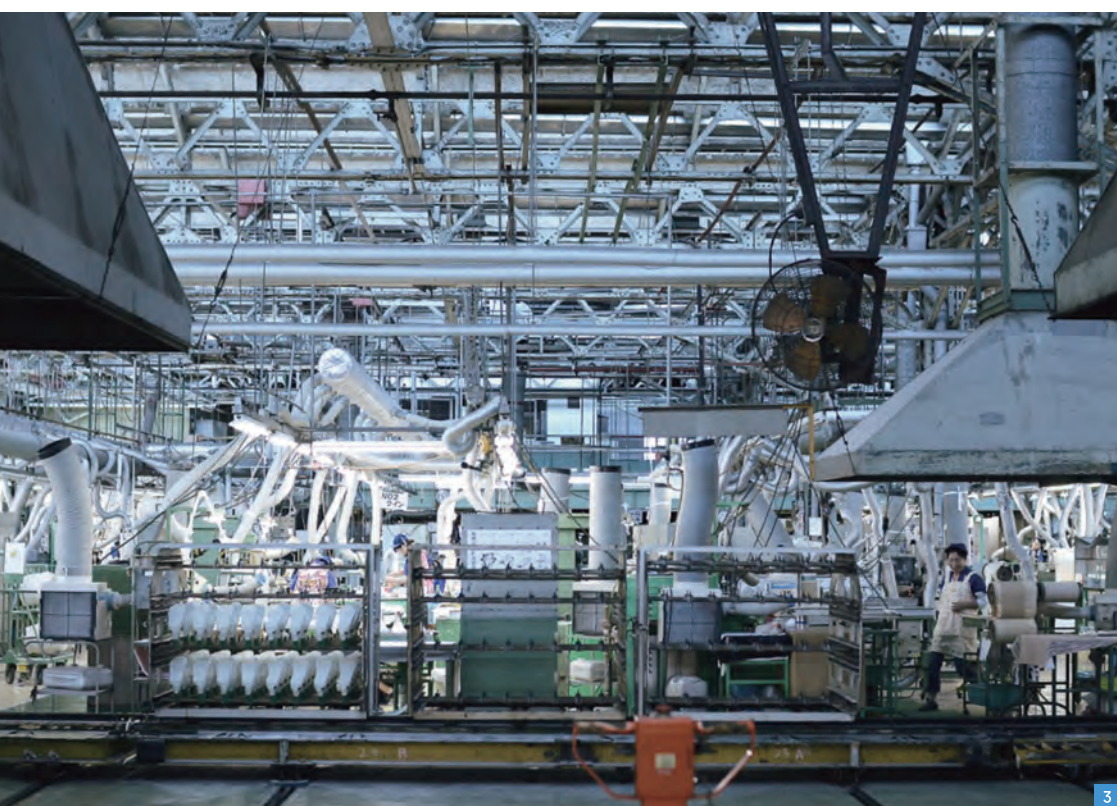


くるめふるさと大使からのメッセージ

シーナ＆ロケットのギタリスト、俳優
鮎川 誠さん

久留米人にはほとめき(ホスピタリティ)の心があって、みんな優しい。誰でも温かく迎えて、文化も大切にします。筑後川、高良山、文化センターなど素晴らしい場所もたくさんあります。ほんとに久留米は最高だね。

つつきは動画から!



1 2 3 ゴム産業

久留米市は日本のゴム産業発祥の地といわれています。1923年(大正12年)「日本足袋」(現アサヒシューズ)と「つつやたび」(現ムーンスター)が、労働者の履物として使われていた滑りやすい足袋を改善しようと、ゴム底を貼り付けた地下足袋を開発しました。全国的な大ヒット商品となり、足袋製造業からゴム製品製造業へと業態を移行。ゴム靴の生産・輸出を開始しました。

1930年(昭和5年)には、「日本足袋」が自動車用タイヤの試作に成功。翌年、同社の石橋正二郎が設立した「ブリヂストンタイヤ」は、世界のトップメーカー「ブリヂストン」としてその地位を築き上げました。現在も多くの関連企業が立地し、様々なゴム製品が作られています。

4 5 久留米絣(くるめかすり)

藍染め手織りの技術で、凜とした美しさを誇る久留米絣。1799年(寛政11年)頃に、井上伝という12〜13歳の少女が考案しました。ある日、着古した着物の色落ち部分に興味を持ち、布をほどこいてみると、糸が所々白くなっていることを発見。伝はこれをヒントに、染めたくない部分を糸で縛って藍汁で染め、紺と白のまだら糸を織り上げる久留米絣の技法を生み出しました。その後も伝の技術を継承した匠たちが「絵絣」や「小絣」といった柄を次々に考案するなど、その伝統は絶えることなく受け継がれてきました。久留米絣の伝統的な技術は、1957年(昭和32年)には芸術的価値が高く評価され、国の重要無形文化財に指定。21世紀の現代においても、日本を代表する織物として多くの人々に親しまれています。

6 9 藍胎漆器(らんたいしっき)

藍(らん)とは、竹で編んだかごのこと。その藍を母体に、幾重も漆を塗り重ね、磨き上げて作られる伝統工芸品です。1887年(明治20年)頃、久留米の塗師・川崎峰次郎、竹細工師・近藤幸七、茶人・豊福勝次の3人が造り出したとされています。1895年(明治28年)に京都で開催された内国勸業博覧会出展の際に藍胎漆器の名称が付けられ、好評を博しました。魅力は、漆の奥深い色合いと竹編み模様が生み出す陰影の美しさ。また、軽くて丈夫なことから、普段使いの器としても長く愛され、親しまれています。今日では、伝統的な素材と技術はそのままに、新感覚のデザインや現代的な機能を備えた品が続々と生まれ、暮らしを美しく彩っています。

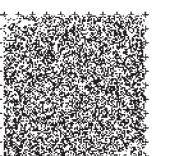
7 8 城島瓦

「関ヶ原の戦後、丹波の国より有馬公が瓦工を伴いて、筑後に封ぜられてより瓦業興る」と文献にあるように、江戸時代から400年以上の歴史があります。藩主として入城した有馬氏と共に久留米入りの瓦工が、良質な大量の粘土と、筑後川の水運に目を付け、瓦の製造を始めたことが起源とされています。やがて城島瓦は、特徴である“いぶし銀”の優美な光沢と格調高い姿形、優れた耐久性から、各地の神社仏閣・日本家屋などに使われ、日本三大産地のひとつとしてその名を知られました。現在、タイルやコースター、食器、花器など、モダンで身近な小物で新たな魅力も発信しています。市内各地に鬼瓦のモニュメントがあるので、訪ね歩いてみてください。

エネルギー充電中。



筑後川の流れをBGMに過ごす
贅沢な癒しの時と空間がここにあります。



NATURE

九州一の大河・筑後川が流れ、雄大な耳納連山が連なる自然豊かなまち久留米市。
一年中楽しめるフルーツ狩りや色彩豊かな花々など、自然を満喫できるスポットが盛りだくさんです。



くるめふるさと大使からのメッセージ



東京五輪柔道女子78キロ超級金メダル
素根 輝さん(パーク24)

学生時代、柔道の練習で毎日高良山に登り、足腰を鍛えました。山頂から筑後平野を眺めると雄大な気持ちになります。中学時代に通っていた田主丸には、たくさんのフルーツがあり、年中楽しめますよ。私は特にいちごが大好きです。

つづきは動画から！



くるめふるさと大使からのメッセージ



俳優
財木 琢磨さん

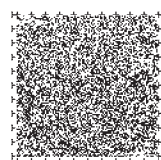
1年を通して、自然の豊かさや魅力を感じられるまち。おいしい水や野菜、果物がたくさんとれて、花も綺麗です。春になるとつづじがそこら中に咲き誇ります。おすすめスポットは高良大社。僕のパワースポットです。

つづきは動画から！



1 2 3 4 フルーツ狩り

肥沃な大地と綺麗な水に恵まれた久留米市は、フルーツの一大生産地。1年を通して様々なフルーツ狩りが楽しめます。
《収穫時期》◎ブルーベリー/6月上旬～8月下旬
◎マンゴー/6月下旬～8月上旬 ◎ぶどう/7月上旬～9月下旬
◎梨/8月上旬～10月中旬 ◎いちじく/8月上旬～10月下旬
◎柿/9月下旬～12月中旬 ◎みかん/10月中旬～11月下旬
◎いちご/12月中旬～5月中旬

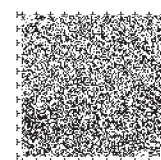


5 6 耳納連山

市の東部に位置し、東西約30kmにわたって連なる耳納連山。屏風のように切り立って見えることから、「屏風山」とも。眼下には広大な筑後平野が広がり、北に宝満山、はるかに有明海や雲仙も遠望できます。美しい日本の歩きたくなる道500選に選ばれた「山苞の道(やまづとのみち)」やトレッキングコース「九州オルレ久留米・高良山コース」を、四季や歴史を感じながら散策するのが最高。

7 8 9 11 花・植物

四季折々の花が彩るまち久留米。全国有数のつばき苗木生産地でもあります。久留米市世界のつばき館や久留米つばき園、石橋文化センターなど、名所も豊富です。クルマエザレアの名で世界中でも愛される久留米つづじは、市のシンボル。4月～5月は公園や街路樹、庭先など、いたる所で色とりどりの花を咲かせます。他にもコスモス、ハゼ、桜、梅、あじさいなど、1年を通して花木に親しむことができます。



10 筑後川

熊本、大分、福岡、佐賀の4県を潤し、有明海に注ぐ九州一の大河。「筑紫次郎」とも呼ばれます。地域の歴史や文化を育んできたこの川の流域には、数々の史跡が点在し、悠久の時を今に伝えています。河畔に続いている1本の道は、久留米市からうきは市吉井町まで整備された27.4kmのサイクリングロード。カヌーなどのアクティビティも楽しめます。

CULTURE

花咲く庭園を散策する。上質な芸術を堪能する。神社仏閣で悠久の歴史に思いをはせる。
豊かな自然と文化・歴史が交差する久留米のまちで、ロマンあふれるひとときを満喫してください。



1 2 久留米シティプラザ

文化芸術の振興、広域交流の促進、まちなかの賑わい創出を目的として、平成28年(2016年)に開館した文化交流施設です。高性能な3つのホールに加え、会議室や展示室、全天候型の六角堂広場などの多様な施設を備えています。

4 久留米市美術館・石橋正二郎記念館

石橋文化センター開館60周年の平成28年(2016年)、石橋美術館の歴史を受け継ぎ、久留米市美術館と石橋正二郎記念館が開館しました。美術館では様々なジャンルの展覧会を開催。記念館では、石橋正二郎のあゆみや人となり、事績などを紹介しています。

6 北野天満宮

天喜2年(1054年)に創建され、久留米藩二代藩主有馬忠頼が再建したものです。祭神である菅原道真公とカッパの伝説が残り、「カッパの手」も保管されています。また、県指定天然記念物の大クスがあり、拝殿前には石造りのウソ鳥が鎮座しています。

8 高良大社

耳納連山の最西端、標高312メートルの高良山にあり、筑後国一の宮としての格式を誇ります。現社殿は国指定の重要文化財で、国指定史跡の高良山神籠石(ごうごいし)や眼下に広がる見事な眺望など見どころ満載。樹齢200年を超えると推定される「久留米つつじ原木群」も必見です。

3 石橋文化センター

ブリヂストン創業者の石橋正二郎氏から寄贈された複合文化施設。音楽ホールや美術館、図書館、坂本繁二郎のアトリエなどを備えます。バラ、つばき、梅など四季折々の花に彩られる庭園は、散策や憩いの場として親しまれています。

5 久留米城跡

江戸時代、約250年間に治めた有馬氏の居城跡。見事な石垣や内濠などが今も残り、歴史をしのぶことができます。城内には初代久留米藩主有馬豊氏など5柱を祀る篠山神社や久留米藩・有馬家ゆかりの歴史資料を展示する「有馬記念館」があります。

7 梅林寺

九州を代表する禪の修行道場として知られ、久留米藩主、有馬家の菩提寺でもある梅林寺。本堂正面の唐門に施された精緻な彫刻が秀逸です。境内の有馬家墓所は国の史跡および重要文化財に指定されており、外苑は梅の名所として、多くの花見客でにぎわいます。

9 成田山久留米分院

千葉県成田市の大本山成田山新勝寺の直系分院。境内には、高さ62mの救世慈母大観音像と平和大仏塔がそびえ立ち、成田山信仰の大霊場として九州はもとより全国各地、海外からも参詣者が訪れています。



くるめふるさと大使からのメッセージ

俳優
藤吉 久美子 さん

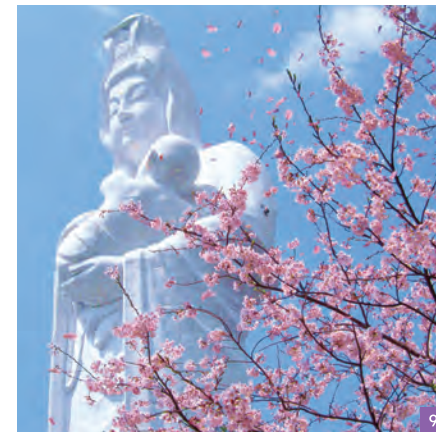
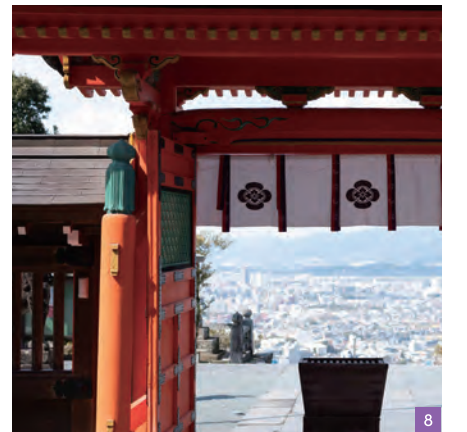
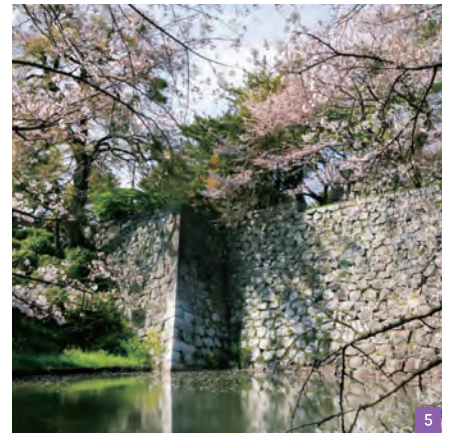
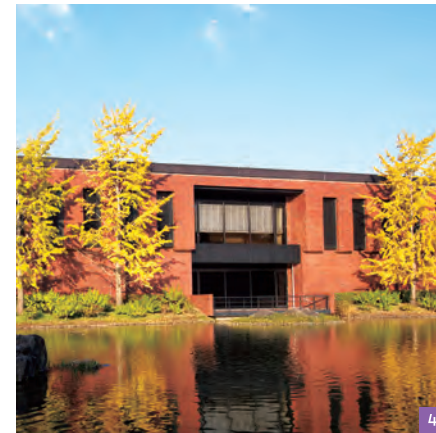
江戸時代約250年を治めた久留米藩、有馬氏の居城跡、篠山神社。ここから見える筑後川の眺めはとても素晴らしい、感動します。代々の有馬のお殿様にご覧になった景色をぜひ皆さんにも楽しんでいただきたいと思います。



くるめふるさと大使からのメッセージ

俳優、ミュージシャン
石橋 凌 さん

文化芸術の面でも素晴らしい先人達がいいます。「海の幸」で有名な明治時代の画家「青木繁」や、世界的に知られた名曲で、私が一番好きな曲でもある「上を向いて歩こう」の作曲者「中村八大」さんなど。超える曲をいつか作ってみたいと思っています。

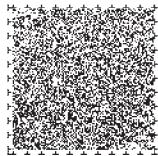


10 水天宮・筑後川花火大会

全国各地にある水天宮の総本宮で、安産・水難避け・子供の守護神として信仰されています。毎年8月に開催される西日本最大規模の「筑後川花火大会」は、水天宮の奉納花火が起源。夏の風物詩として、久留米の夜空を艶やかに彩ります。

11 鬼夜

大善寺玉垂宮で毎年正月7日に行われる、1600年余りの伝統を持つ神事。日本三大火祭りのひとつに数えられるとともに、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。長さ13m、重さ1.2tの燃え盛る大松明6本を、数百人が支えながら境内をまわる「大松明廻し」は圧巻。



HEALTH

久留米市は古くから「医者の子」といわれ、医師の数や医療の充実ぶりは全国トップクラスを誇っています。
日々の健康づくりを支えるスポーツ施設も充実。安心して健康に暮らせる生活環境がここにあります。

01 医者の子

市内には、32の病院と300を超える診療所があり、身近な所で受診できる医療環境が整っています。人口10万人当たりの医師数は567.4人で、全国の政令市・中核市の中で2位。(R2調)
(参考:福岡市377.5人、全国平均256.6人)



02 救命救急センター

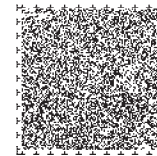
県内唯一の高度救命救急センターを設置し、ドクターヘリを運航している久留米大学病院や、救命救急センターで年間約1万人の救急患者を受け入れている聖マリア病院などが立地。もしものときの救急医療環境が充実しています。また、救急搬送時間は全国トップレベルの速さ。医師が救急車に同乗するドクターカーも運行しています。



03 充実したスポーツ施設

代表チームの合宿の受け入れやプロスポーツ、全国大会の開催もできる総合スポーツセンターやみづま総合体育館といった大型施設をはじめ、市内には屋内・屋外ともに数多くのスポーツ施設があります。
また、公園が数多くあるほか筑後川の河川敷には、サイクリングロードが27.4kmにわたり整備されていて、自分に合った健康づくりを行うことができます。

MESSAGE



各界で活躍する久留米市ゆかりの方々が、「くるめふるさと大使」として市の魅力をPRしてくれています。
「久留米愛」がたっぷり詰まった皆さんのメッセージをぜひご覧ください。



マオさん

ミュージシャン、
ロックバンド「シド」のヴォーカル



植田 真梨恵さん

シンガーソングライター



HAL-CAさん

インストメタルバンド
ASTERISMのギタリスト



田中 菜緒子さん

ジャズピアニスト



野田 かつひこさん

シンガーソングライター



パンチ佐藤さん

元プロ野球選手、
野球解説者、タレント



山田 麻莉奈さん

声優



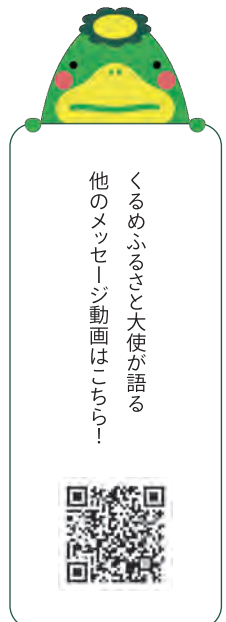
秋吉 耕佑さん

レーシングライダー



九州男児新鮮組さん

ブレイクダンス
エンターテインメントチーム



Costume Cooperation 【田中麗奈さん 衣装協力】

〈表紙、P1、P2〉 コート pas de calais 六本木
ワンピース suzuki takayuki
バッグ S.H.M

〈P3、P7〉 ベスト インナー サロベツ Veritecoeur
バッグ YUFU
〈P4〉 ワンピース Sea New York / BRAND NEWS

〈P8、裏表紙〉 ワンピース コート Veritecoeur
バッグ SAN HIDEAKI MIHARA
〈P11〉 ワンピース ブルゾン バッグ suzuki takayuki

お問い合わせ

久留米シティプロモーション実行委員会事務局(久留米市総合政策部広報戦略課)
〒830-8520 福岡県久留米市城南町15-3 TEL:0942-30-9228 FAX:0942-30-9703

